

令和 8 年度

教育研究活動等に係るデータ分析による

自己点検・評価結果の概要

全学内部質保証委員会

1. 教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価について

【実施に当たり】

「教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価」は、福井大学内部質保証規程第8条の規定に基づき、福井大学全学自己点検・評価実施要項により実施するものである。

本自己点検・評価は、IR室（経営戦略課）で収集している「ファクトブック」のデータを分析し、現状や中期目標・中期計画の進捗状況など本学の教育研究活動等について、毎年度、IR 機能を活用した客観的なデータに基づく自己点検・評価として実施するものである。分析するデータとして、ファクトブックに収納されたデータの内、以下を対象としている。

- ①大学の現状等を示す「基本データ」の中から適切なデータ（以下、「**分析基本データ**」という）：設置基準等の法令で定められている事項、法人評価・認証評価で確認が求められる事項、社会的な要請を含め、大学として目標を定めている事項、その他、共通指標等の主な事項など、自己点検できるものを精選している（別表1）。
- ②第4期の教育研究活動等の中心である中期計画の進捗を示す定量的な評価指標（以下、「**特徴データ**」という）：第4期中期計画に係る評価指標の中から、全ての定量的な評価指標から構成されている（別表2）。

データの分析においては、其々のデータにあらかじめ設定した評価基準等（目標値を含む）に基づき、“評価基準等を達成できたか/満たしているか”の観点から自己点検・評価を行い、この結果に基づき、必要に応じて、改善に向けた方策等を策定する。なお、「特徴データ」の自己点検・評価は、別途、法人評価対応部会が実施する全学内部質保証の一環である「中期目標・中期計画の進捗に係る自己点検・評価」の中で実施する。これら評価結果に基づき、関係部署等は、中期計画の達成を含め改善・向上に向けた取組みを実施することとしている。

【第4期中期目標・中期計画への関与】

本自己点検・評価は、以下の第4期中期目標・中期計画に関与している。

中期目標

- 14) 外部の意見を取り入れつつ、客観的なデータに基づいて、自己点検・評価の結果を可視化するとともに、それを用いたエビデンスベースの法人経営を実現する。併せて、経営方針や計画、その進捗状況、自己点検・評価の結果等に留まらず、教育研究の成果と社会発展への貢献等を含めて、ステークホルダーに積極的に情報発信を行うとともに、双方向の対話を通じて法人経営に対する理解・支持を獲得する。

中期計画

- 14)-1 エビデンスベースによる法人運営を目指し、IR機能を活用した客観的なデータに基づく自己点検・評価を実施し、教育研究活動等の質の改善状況をステークホルダーに分かりやすく発信していく。

評価指標

- 14-1-A 教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価を毎年度実施し、開示している。

本自己点検・評価の実施は、上記の中期計画であげた「IR 機能を活用した客観的なデータに基づく自己点検・評価の実施」に相当するものである。さらに、本自己点検・評価の結果は、教育研究活動等の質の改善状況を示す「教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価報告書」として公表するとともに、当該概要によって広く情報発信する。

【分析基本データに係る実施手順等】

分析基本データに係る自己点検・評価は、基本的に、「教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価の実施ガイドライン」に沿って、以下のように実施した。

(1) 実施体制

分析基本データについて、評価担当理事が評価を行った。

(2) 実施方法

(分析基本データの定義と評価対象データ)

員 数 群：当該年度5月1日現在の員数データ（当該年度入学者に関する入試データを含む）

実 績 群：前年度実績データ

員数群-補：当該年度11月1日現在の員数データ

実績群-補：前年度実績のうち追って集計が必要なデータ

IR 室（経営戦略課）ではこれら分析基本データについて、年次推移を含めた「分析基本データ集」を作成している。

(分析基本データの自己点検・評価)

IR 室（経営戦略課）によって収集された分析基本データに基づき、評価担当理事（IR 室長）は評価基準等を鑑み、それぞれのデータを評価する（評点を付す）とともに、必要に応じてコメント及び特記事項（優れている点／改善を要する点）を記載した。その後、IR 室員は、上記の結果を確認し、必要に応じてコメント、特記事項を記載した。

なお、IR 室による評価は、以下の評点及び評語により実施した。

1. 評価基準等を満たしている

2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
3. 評価基準等を満たしていない

【特徴データに係る実施手順等】

特徴データに係る自己点検・評価は、「中期目標・中期計画の進捗に係る自己点検・評価の実施ガイドライン」に沿って、法人評価対応部会が別途実施した。なお、詳細は、以下を参照のこと。

第4期中期目標期間における4年目終了時評価（令和9年3月下旬頃掲載予定）

https://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/outline/management02/

【自己点検・評価実施期間】

本自己点検・評価は、令和8年5月から令和8年6月に実施した。なお、員数群-補および実績群-補のデータについては、12月までに自己点検・評価することとしている。

【自己点検・評価結果報告書】

本年度の本自己点検・評価結果は、以下を参照のこと。

令和8年度教育研究活動等に係るデータ分析による自己点検・評価報告書（令和8年6月）

https://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/outline/management06/self_inspect/

なお、当該概要はその報告書からの抜粋である。

2. 自己点検・評価結果の概要

本年度の自己点検・評価結果の概要は以下のとおりである。

(1) 分析基本データ

別表1 分析基本データ一覧及びその評点

基本データ総数	評点 ¹⁾			該当せず ²⁾
	1	2	3	
19	7	6	3	3

1) 評点 1. 評価基準等を満たしている

2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない

3. 評価基準等を満たしていない

2) 員数・実績群一補

「一部の部局で、評価基準等を満たしていない」

- ・1-① 志願者数・受験者数
- ・1-② 入学定員充足率・平均入学定員充足率
- ・1-④ 収容定員超過率
- ・1-⑥ 標準修業年限内卒業・修了率
- ・1-⑦ 標準修業年限X1.5年以内での卒業・修了率
- ・1-⑨ 就職率

「評価基準等を満たしていない」

- ・1-⑤ 授業外学修時間
- ・2-② 科研費採択件数・内定金額（教員当たりの獲得額）
- ・3-① 外国人留学生数

本年度は、上記のように、基本データのうち、6データは「一部の部局で、評価基準等を満たしていない」、3データは「評価基準等を満たしていない」と判定された。これらデータの中には法人評価・認証評価で確認が求められる事項や共通指標に該当するものもあり、それぞれ、評価基準等を満たすよう、改善に向けた更なる取組が求められる。

(2) 特徴データ

別表2 特徴データ一覧及びその達成状況

定量的な評価指標総数 ²⁾	目標値を達成	目標値が未達成	該当せず ³⁾
62	56	6	0

1) 「第4期中期目標期間における4年目終了時評価」より抜粋

2) 評価指標の中に複数の指標がある場合、別個の取り扱いとした

3) 当該年度に取組の予定がないもの、基準値を設定することとしているもの

評価結果は「特徴データ一覧とその達成状況」のとおり。

本年度、設定した当該年度の目標値を達していない評価指標は、次のとおりである。

- ・(1)-2-B ステークホルダーのニーズに応えた嶺南地域の課題解決に向けたプロジェクト件数
- ・(5)-2-B 海外事業所や海外展開する国内企業等との間でオンラインによるヒアリングや議論を行うプログラム件数
- ・(6)-3-B 地域医療、感染症に関するコンピテンシー達成度（学生のアンケート結果）
- ・(7)-1-A 正規留学生数
- ・(7)-3-C 海外教員研修留学生及び研修受講生による「長期実践研究報告」において、研修について良好な評価（上方3/5以上）を行った留学生・研修生の割合
- ・(8)-5-B 当該分野における研究成果の具体化件数（特許出願数と特許の権利化件数の合計）

昨年度から引き続き目標値を達成していない評価指標は特に、次年度の目標を達成できるよう、向上に向けた取り組みが求められる。

分析基本データ一覧及びその評点

分類	基本データ（項目）		粒度	基準等	対象年度	実績（前年度） 員数（今年度）	実施年度の評点						備考
							R4	R5	R6	R7	R8	R9	
教育	1-①	志願者数・受験者数	学部・学科 研究科・課程	過去5年間の平均以上	当該年度5月現在 (春期)	員数群	2	2	2	2	2		
	1-②	入学定員充足率 ・平均入学定員充足率	学部・学科 研究科・課程	認証評価等の基準 (目安:100%以上、130% 未満)	当該年度5月現在 及び11月現在（秋 期を含む）	員数群	2	2	2	2	2		モニタリング項目
	1-③	収容定員充足率（未充足の状 況）	学部・学科 研究科・課程	法人評価等の基準 (90%以上:医・工・教研・ 医研博・工研 80%以上:教・国・医研前・ 医研後・国研)	当該年度5月現在	員数群	2	1	2	2	1		モニタリング項目
	1-④	収容定員超過率	学部 研究科	法人評価等の基準 (110%)	当該年度5月現在	員数群	1	2	1	1	2		モニタリング項目
	1-⑤	授業外学修時間	全学・学部	第3期末より増 (12.5時間)	前年度	実績群		3	3	3	3		
	1-⑥	標準修業年限内卒業・修了率	各局局	本学独自の基準 (目安: 教研:85% 工研前:82.5% 教・医・工・国研:80% 国:70% 工研後:50% 医研:-)	前年度	実績群		2	2	2	2		共通指標 モニタリング項目
	1-⑦	標準修業年限×1.5年以内で の卒業・修了率	各局局	法人評価等の基準 (目安: 教・医・工・国:90%以上 教研:85%以上 医研博・工研後:70%以 上)	前年度	実績群		2	2	2	2		モニタリング項目
	1-⑧	学位授与数（博士）	医学系・工学	前年度より増	前年度	実績群		2	1	3			共通指標
	1-⑨	就職率	全学・部局	高い水準を維持 (97.2%)	前年度	実績群		1	1	1	2		特徴データと重複 (2)-1-B他
研究	2-①	研究論文数（年間）（教員当 たりの業績数）	全学	第3期平均値より増	前年度	実績群-補		3	3				共通指標 3年間の平均ではなく、1年ご とのデータを取り扱う
	2-②	科研費採択件数・内定金額 （教員当たりの獲得額）	全学	第3期平均値より増	前年度	実績群		3	3	3	3		研究推進課から提供のデータと し、共通指標数値とは異なる可 能性あり
	2-③	外部資金獲得状況:総額・内 訳別総額（教員当たりの受 託・共同研究受入額）	全学	第3期平均値より増	前年度	実績群		1	1	1	1		研究推進課から提供のデータと し、共通指標数値とは異なる可 能性あり
グローバル	3-①	外国人留学生数	全学	設定した目標値 (第3期の正規留学生数の 年平均(118名)より増加)	前年度	実績群		3	3	3	3		特徴データと重複 (7)-1-A
	3-②	海外派遣学生数	全学	設定した目標値 (第3期のJASSO海外留学支 援制度の支援実績の年平均 (171名)より増加)	前年度	実績群		3	3	3	1		
教員数	4-①	基幹教員数・専任教員数	学部・学科 研究科・課程	設置基準	当該年度5月現在	員数群	1	1	1	1	1		
	4-②	研究指導・補助教員数	学部・学科 研究科・課程	設置基準	当該年度5月現在	員数群	1	1	1	1	1		
	4-③	若手教員採用比率	人事で設定した粒 度	人事で策定した目標値 (若手教員の採用比率:年 平均60%以上)	前年度	実績群		1	3	3	1		共通指標 「福井大学における教員の 総合的な人事計画」に掲げ る目標値（この計画における若 手教員:当該年度の年度末におけ る年齢が40歳未満の者）
	4-④	女性教員比率	人事で設定した粒 度	人事で策定した目標値 (R8年度末までの目標値: 22%以上)	当該年度5月現在	員数群	3	3	3	1	1		「福井大学一般事業主行動 計画」に掲げる目標値

実施年度の評点

1. 評価基準等を満たしている
2. 一部の部局で、評価基準等を満たしていない
3. 評価基準等を満たしていない

特徴データ一覧とその達成状況

中期計画 番号	評価指標番 号	定量的な指標	意欲的	目標値	達成状況（上段：実績／下段：見込み）					
					R4	R5	R6	R7	R8	R9
(1)-1	(1)-1-A	地域イノベーション関与指数		235超（第4期平均）	371	357	364	366		
								265	366	366
(1)-2	(1)-2-B	ステークホルダーのニーズに応えた嶺南地域の課題解決に向けたプロジェクト件数		30件以上（第4期合計）	17件	34件	56件	63件		
								15件（累計50件）	73件	83件
(1)-2	(1)-2-C	相手先を福井県、嶺南自治体等とする共同研究、受託研究及び受託事業の受入金額		9,129千円超（第4期合計）	6,230千円	19,663千円	29,687千円	35,443千円		
								3,000千円 （累計14,500千円）	38,443千円	40,443千円
(1)-3	(1)-3-A	地域医療を指導できる総合診療・総合内科医の輩出人数		12名以上（第4期合計）	2名	3名	6名	8名		
								2名（累計8名）	10名	12名
(1)-3	(1)-3-B	感染症専門医の輩出人数		6名以上（第4期合計）	2名	3名	4名	4名		
								1名（累計4名）	5名	6名
(1)-3	(1)-3-C	①「健康のまちづくり友好都市連盟」サミットの開催回数 ②当該サミット参加自治体数		①1回（毎年度）	1回	1回	1回	1回		
								①年度内1回開催	1回	1回
				②延べ180自治体（第4期合計）	31自治体	63自治体	98自治体	133自治体		
								②30自治体（延べ120自治体）が参加	168自治体	203自治体
(1)-4	(1)-4-A	令和9年度までに「未来協働プラットフォームふくい（※）」等での議論に基づくリカレントプログラムを複数実施 ※福井県版地域連携プラットフォーム		2件以上（第4期合計）	3件	4件	4件	4件		
								－	5件	5件
(2)-1	(2)-1-B	就職率	◆	97.2%（第4期平均）	99.3%	99.3%	99.4%	99.5%		
								97.2%	99.4%	99.4%
(2)-2	(2)-2-A	高等学校における探究活動の支援回数		46回以上（R9年度）	95回	112回	97回	92回		
								46回	92回	92回
(2)-2	(2)-2-B	大学における探究プロジェクト開催回数		16回以上（R9年度）	14回	17回	17回	16回		
								16回	17回	17回
(2)-3	(2)-3-A	就職率	◆	97.2%（第4期平均）	99.3%	99.3%	99.4%	99.5%		
								97.2%	99.4%	99.4%
(3)-1	(3)-1-B	認定取得した教育プログラム履修者数		200名以上（R9年度）	331名	361名	466名	977名		
								855名（入学定員数）	980名	980名
(3)-2	(3)-2-B	多職種連携教育科目数		6科目超（第4期合計）	5科目	5科目	8科目	8科目		
								7科目以上	8科目	8科目
(4)-1	(4)-1-B	修了までに必修以外の工学研究科共通科目を履修した学生数（工学研究科博士前期課程（改組後））		150名以上（第4期平均）	165名	185名	190名	197名		
								155名	202名	206名
(4)-1	(4)-1-C	工学研究科博士前期課程修了生の就職率		97.2%（第4期平均）	100%	100%	100%	100%		
								97.2%	99.9%	99.9%
(4)-2	(4)-2-A	他大学や機関と連携して行う原子力安全工学教育メニューの実施回数		38回超（第4期合計）	13回	32回	50回	66回		
								15回（累計46回）	82回	98回
(4)-2	(4)-2-B	原子力関連分野への就職者数		52人（第4期合計）	13人	26人	44人	60人		
								10人（累計40人）	73人	86人
(5)-1	(5)-1-A	大学院教師教育・教員養成カリキュラムにおける長期的で組織的な学校拠点のプロジェクト学習の授業科目割合		90%以上（R9年度）	77%	91%	91%	91%		
								88%以上	91%	91%
(5)-1	(5)-1-B	長期的で組織的な学校拠点のプロジェクト学習の授業科目における大学院生の学習（能力）評価に参画する立場の異なるステークホルダー数		6名以上（R9年度）	3名	3名	4名	5名		
								5名	6名	6名
(5)-1	(5)-1-C	「理論と実践の往還」及び長期的で組織的な学校拠点のプロジェクト学習の展開の視点から、すべての科目（授業科目・研修科目）が有機的に編成されたカリキュラムを実施する拠点数（連携大学・自治体）		5拠点以上（R9年度末）	3拠点	4拠点	7拠点	11拠点		
								5拠点以上	11拠点	11拠点
(5)-2	(5)-2-B	海外事業所や海外展開する国内企業等との間でオンラインによるヒアリングや議論を行うプログラム件数		12件以上（第4期合計）	7件	10件	14件	15件		
								2件（累計8件）	17件	19件
(6)-1	(6)-1-C	教育学部全体の特別支援学校教諭の免許状取得率		25%以上（R9年度）	15.2%	15.3%	19.0%	28.2%		
								20%以上	28.0%	28.0%
(6)-2	(6)-2-B	卒業時における学生の達成度自己評価において、「できる」「ある程度できる」と回答した学生の割合		R5年度（医学科）超（R9年度）	－	（医学科）64.2%	77.5%	81.9%		
								64.3%以上	82.0%	82.0%
				R4年度（看護学科）超（R9年度）	（看護学科）92.0%	92.7%	95.9%	95.2%		
								92.1%以上	95.3%	95.3%

中期計画 番号	評価指標番 号	定量的な指標	意欲的	目標値	達成状況（上段：実績／下段：見込み）					
					R4	R5	R6	R7	R8	R9
(6)-3	(6)-3-A	地域医療、感染症教育に関する新たな取組件数		R4の数値超（R9年度）	3件	3件	8件	8件		
								継続を含む3件以上	8件	8件
(6)-3	(6)-3-B	地域医療、感染症に関するコンピテンシー達成度（学生のアンケート結果）		R5年度（医学科（地域医療））超（R9年度） R5年度（医学科（感染症））超（R9年度）	－	(医学科) 地域医療／3.90 感染症／3.56	地域医療／3.96 感染症／3.77	地域医療／3.92 感染症／3.89		
								地域医療/3.91以上 感染症/3.57以上	地域医療／3.93 感染症／3.90	地域医療／3.93 感染症／3.90
				R4年度（看護学科（地域医療））超（R9年度） R4年度（看護学科（感染症））超（R9年度）	(看護学科) 地域医療／4.24 感染症／4.17	地域医療／4.11 感染症／4.11	地域医療／4.31 感染症／4.28	地域医療／4.24 感染症／4.17		
								地域医療／4.25以上 感染症／4.18以上	地域医療／4.25 感染症／4.18	地域医療／4.25 感染症／4.18
(7)-1	(7)-1-A	正規留学生数		118名超（R9年度）	106名	103名	106名	110名		
								118名超	146名	150名
(7)-1	(7)-1-B	正規留学生の満足度（正規留学生を対象としたアンケート）		R4年度超（R9年度）	8.89/10点	9.22/10点	9.16/10点	8.94/10点		
								8.9/10点以上	9.05/10点	9.05/10点
(7)-2	(7)-2-B	英語による専門科目数		R4年度超（毎年度）	368	385	403	450		
								369以上	482	516
(7)-2	(7)-2-C	②国際通用性を高める教育（海外留学等）の実施前後のグローバル・コンピテンシー指標		②15%以上向上（第4期平均）	19.3%	19.7%	19.5%	20.3%		
								15%以上向上	20.3%	20.3%
(7)-3	(7)-3-A	海外教員研修留学生及び研修受講生指数		300以上（第4期平均）	305	491	767	914		
								300	995	1049
(7)-3	(7)-3-C	海外教員研修留学生及び研修受講生による「長期実践研究報告」において、研修について良好な評価（上方3/5以上）を行った留学生・研修生の割合		60%以上（第4期平均）	56%	56%	57%	59%		
								60%以上	62%	65%
(8)-1	(8)-1-A	遠赤外領域研究に関する国内・国際共同研究の新規実施件数		227件以上（第4期合計）	46件	104件	156件	214件		
								40件（累計160件）	262件	314件
(8)-2	(8)-2-A	Science Citation Index（SCI）論文数		130件（第4期合計）	21件	45件	70件	93件		
								23件（累計92件）	116件	139件
(8)-2	(8)-2-B	①試験研究炉の研究分野に係るセミナー等の開催回数 ②同研究分野の連携協定数		①2回以上（毎年度）	7回	10回	16回	6回		
								①年間5回	7回	7回
				②3件以上（第4期合計）	0件	2件	2件	2件		
								②2件	3件	3件
(8)-3	(8)-3-A	病態画像研究に関する学術誌への英文論文掲載数		160件超（第4期合計）	48件	108件	167件	233件		
								30件（累計120件）	260件	290件
(8)-4	(8)-4-A	地域イノベーション創出指数		176超（第4期平均）	225	232	235	232		
								189	232	232
(8)-5	(8)-5-A	当該分野における学術誌への英文論文掲載数		1,756件超（第4期合計）	312件	635件	983件	1,393件		
								300件 （累計1,200件）	1,700件	1,840件
(8)-5	(8)-5-B	当該分野における研究成果の具体化件数（特許出願数と特許の権利化件数の合計）		92件超（第4期合計）	16件	33件	48件	62件		
								16件（累計64件）	74件	93件
(9)-1	(9)-1-A	①義務教育学校における発達障害児を含めたPBLの実施時間数 ②幼稚園における発達障害児を含めた「PBLに繋がる遊びの時間」数		①-1 100時間以上（前期課程）（毎年度） ①-2 70時間以上（後期課程）（毎年度）	①-1 105～136時間 ①-2 90～105時間	①-1 105～143時間 ①-2 102～125時間	①-1 104～148時間 ①-2 125～183時間	①-1 138～167時間 ①-2 133～191時間		
								①-1 100時間以上 ①-2 70時間以上	①-1 110時間 ①-2 100時間	①-1 110時間 ①-2 100時間
				②150時間以上（毎年度）	②386～388時間	②386～392時間	②384時間	②382時間		
								②150時間以上	②380時間	②380時間
(9)-1	(9)-1-B	教育学部・教職大学院・医療等との連携件数		138件より20%以上増加（第4期合計） （166件以上）	34件	68件	98件	133件		
								30件（累計120件）	168件	203件
(9)-1	(9)-1-C	附属学園に所属する教員の教職大学院への進学者数		18名超（第4期合計）	3名	6名	9名	14名		
								4名（累計14名）	18名	22名
(10)-1	(10)-1-A	①研究者等を対象とした多様なテーマによる臨床研究に関するセミナー・講習会の実施件数 ②研究デザイン設計を含む総合的な統計相談件数		①12回以上（毎年度）	22回	27回	23回	25回		
								12回以上	20回	20回
				②12回以上（毎年度）	31回	21回	23回	23回		
(10)-2	(10)-2-A	シミュレーターを活用した臨床研修の実施回数		30回以上（毎年度）	48回	69回	55回	68回		
								30回以上	68回	68回
(10)-2	(10)-2-B	卒前教育・卒後教育を一体化し、臨床実技とシミュレーショントレーニングを組み合わせた教育・研修プログラム数		3回以上（毎年度）	4回	5回	6回	6回		
								3プログラム以上	6回	6回

中期計画 番号	評価指標番 号	定量的な指標	意欲的	目標値	達成状況（上段：実績／下段：見込み）					
					R4	R5	R6	R7	R8	R9
(10)-3	(10)-3-A	臨床研究の新規実施件数		1,205件超（第4期合計）	226件	429件	668件	975件		
								195件 累計804件	1,063件	1,268件
(10)-3	(10)-3-B	不妊治療施設（新設施設）の治療件数		R4年度超（R9年度）	2,007件	2,413件	2,745件	3,087件		
								2,309件	2,500件	2,500件
(10)-3	(10)-3-C	①がん遺伝子パネル検査件数 ②遺伝カウンセリング件数		①50件以上（第4期合計）	78件	160件	241件	298件		
								30件 （累計120件）	348件	398件
				②40件以上（第4期合計）	69件	131件	248件	360件		
								15件 （累計60件）	400件	440件
(11)-1	(11)-1-A	教職協働によるプロジェクト件数		10件以上（第4期合計）	7件	9件	10件	11件		
								新規1件以上 （累計10件以上）	11件	12件
(12)-1	(12)-1-A	共用設備の使用件数		52,639件超（第4期合計）	10,745件	21,924件	32,908件	42,500件		
								9,138件 （累計36,552件）	52,092件	61,684件
(12)-2	(12)-2-A	エネルギー消費原単位値（原油換算値）の削減割合		0.038323kl/㎡以下 （R9年度）	0.03870kl/㎡	0.03712kl/㎡	0.03619kl/㎡	0.03285kl/㎡		
								0.03830kl/㎡以下	0.03285kl/㎡	0.03285kl/㎡
(13)-1	(13)-1-A	外部資金の獲得に関する新たな取組件数		2件以上（第4期合計）	1件	1件	2件	2件		
								－	2件	2件
(13)-1	(13)-1-B	相手先を福井県、嶺南自治体等とする共同研究、受託研究及び受託事業の受入金額		9,129千円超（第4期合計）	6,230千円	19,663千円	29,687千円	35,443千円		
								3,000千円 （累計14,500千円）	38,443千円	40,443千円
(14)-2	(14)-2-A	connect Ufukuiの登録者数		2,000人以上（R9年度）	903人	1,250人	1,515人	3,188人		
								2,000人以上	3,300人	3,400人
(15)-1	(15)-1-A	事務局職員のデジタル技術の活用に関する研修会等への参加者数		60名（第4期合計）	21名	40名	68名	97名		
								10名（累計40名）	107名	117名
(15)-1	(15)-1-B	AI・RPAなどデジタル技術の導入件数		3件以上（第4期合計）	2件	4件	5件	7件		
								1件（累計4件）	8件	9件
(15)-2	(15)-2-A	研修会の開催数		12回以上（第4期合計）	2回	4回	6回	8回		
								2回（累計8回）	10回	12回

※ 目標値が「第4期合計」の場合は、各年度の実績及び見込み欄には、当該年度までの「推計数」を記載
※ 目標値が「第4期平均」の場合は、各年度の実績及び見込み欄には、当該年度までの「平均値」を記載